

強いチームとは

校長 濱畠 昭成

以前、バレー部の顧問をしていた時、部員の人数が少なく6人の時があった。一人でも欠けると試合にも出られない状態である。その内の一人が、よく学校を休みがちな生徒であった。また、ポジションがセッターなので、その子が休むとトスを上げる人がいなくなるという状況でチームにとって欠かせない存在であった。私はその子をキャプテンにしチームのまとめ役を任せた。キャプテンとしては、放課後まず顧問に練習メニューを聞き、練習内容を指示していかなければならぬ。当然の事ながら始めからうまくいくはずなく、練習がうまく進まない。学校を休む日も多々あった。私は練習のアップを兼ねてその子の家まで5人の生徒を、呼びに行かせたことが何度かある。今でこそ無理な登校刺激なのだろうが、実際練習が滞り試合どころでないからである。しかし、その内チームの各々が分かってきたのか、その子を助けるような役を務める子がてきて練習に熱を入れられるようになっていった。卒業後高校でバレー部に入部したといううわさを聞きうれしく思った想い出がある。

あるスポーツ学者が言っていた。だれでもリーダーができるチームが強いチームだと。選手一人一人が、その人の気持ちになり自分の気持ちを整理できる能力を持ち得るとレベルの高いチームになる。しかし、実際葛藤が大きいと。

三島小中の児童生徒もそれぞれ性格も違えば、考え方も違う。目標とする夢も違う。それぞれ一人一人が輝く存在であって欲しい。また同時に三島小中として一つのチームである。互いにリーダーの考えを尊重し目標に向かって進むことができれば、それが強いチームになる。小さい学校だけれども、大きな強いチームであって欲しい。

児童生徒総会（後期）

前期の反省をもとに、後期の活動計画を発表しました。会長の真優さんを中心に新生三島小中学校がスタートしました。「大きな気持ちの良いあいさつができる学校づくり」を目指します。登下校中や港でのあいさつを頑張ってくれるでしょう。

会長：渡邊真優 副会長：梅田智

生活委員長：石賀茉莉愛 保育委員長：海老原心美



文化祭ありがとうございました！

児童生徒の発表はいかがだったでしょうか？大勢の前での緊張感を乗り越えた発表は、子どもたちの達成感や充実感に繋がりました。たくさんのご来場・ご声援ありがとうございました。



村民文化祭も盛り上がりました

片泊ふれあいセンター

ーでの村民文化祭では、朝6時10分の出港にも関わらず、保護者の皆さんの協力を得ながら参加することができました。各学校の趣向を凝らした出し物や、三島村の中学生が一緒になったジャンベ演奏を見ることができてとてもよかったです。オリンピック銀メダリストの平山紘一郎さんの講演、本物の銀メダル銅メダル心に残った文化祭でした。来年は、硫黄島でスポーツレクレーション大会竹島、黒島との交流楽しみです。



かごしまの教育を考える「県民週間」

島民の方々にも授業を見て頂きました。「複式授業の難しさを痛感しました。先生方も子どもたちもその良さを感じて先につなげほしいです。今後とも子どもたちの為、地域の為によろしくお願いします。」という感想もいただきました。今後とも学校、保護者、島民が三位一体となった教育に力を入れていきます。



漁業体験学習

お魚釣って食べましょう！

今年も水産業振興促進協議会の南田さんの協力をいただいて、堤防とみしまⅡからの釣りを楽しみました。コトヒキやキツネベラ、アカハタ、シロダイ！釣れた魚はお味噌汁にしておいしくいただきました。



受賞おめでとう！

地域植樹祭での「緑の標語コンクール」結果

石賀茉莉愛さんが最優秀賞「小さな芽 未来のかけはし 地球の宝」
中渡瀬瑠宇くんが優秀賞「増やそう自然 守ろう生命 三島の緑」。
HPには、他の写真も掲載しております。<http://www.mishimamura-sch.jp/mishimakko/>